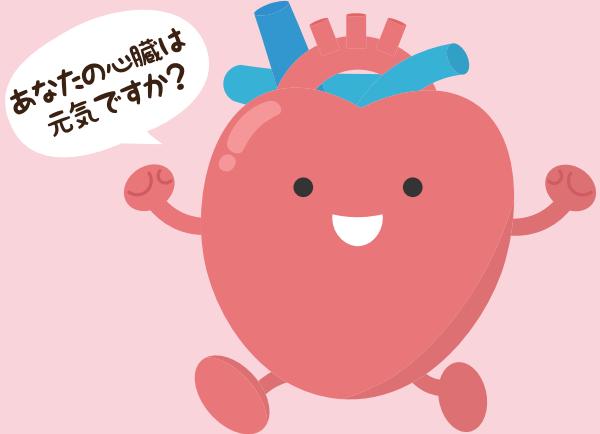


和泉市では、心不全の早期発見・早期治療をめざし、市が助成します。



## “心臓の負担”的度をみる血液検査

ビー エタ ピー  
**BNP**

50～74歳で、一定の症状や基礎疾患があり、特定健診と市追加検査を受けるときに、医師が必要と判断した人は  
**BNP検査が500円で受けられます。**

### BNP検査 Q&A

Q1

#### BNPとは何ですか？

A BNPとは、心臓を守るために心臓（特に心室）から分泌されるホルモンです。心臓の機能が低下して心臓への負担が大きいほど多く分泌され数値が高くなります。

※BNPは血圧を低下させ、利尿を促し、さらには心臓の肥大や線維化を抑えるという心臓を守る（心保護）作用があります。



Q2

#### BNP検査の方法は？

A 一般的な血液検査と同じです。

静脈血を採血して機械で測定する簡単な検査です。



Q3

#### BNP検査だけで心臓病の全てが分かりますか？

A BNP検査は心臓への負担の程度を大まかに知ることができる検査です。

基礎疾患（心不全の原因となる病気）の診断は、別の血液検査、心電図検査、レントゲン検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、運動負荷検査や核医学検査などが必要になることがあります。

総合判断  
が必要！



BNP検査 + その他の検査 = 総合判断

Q4

## BNP値の正常値はいくらですか？

A 心機能低下に伴う心臓の負担の程度（心不全の程度）は一つの検査だけで判断することは困難です。BNPに関してもその値がいくら以上だと異常でそれ以下ならば正常であると明確に区別することは難しいです。

※正常値として一般に普及しているのは18.4pg/ml以下。但し、大よそ35pg/ml以下なら直ちに治療が必要となる心不全の可能性は低いと判断されます。

個々にあった  
数値がある



紹介して  
いる数値は  
あくまで目安

Q5

## BNP値で本当に気を付けなければいけない値は？

A 大まかに言うとBNP値が約100pg/ml以上に上昇すると治療が必要となることがあります。それに対応するNT-proBNP値は約300pg/ml以上となります。特に息切れ、疲れやすい、足がむくむ等の症状がある場合は早目にかかりつけ医に相談しましょう。

早めに相談を！



### NT-proBNPという検査も同じですか？

BNPとNT-proBNPは同じ遺伝子に由来し、同じ目的で使用されています。しかし、数値に違いがあり、一般的にBNPよりもNT-proBNPの方が4～5倍高い値を示します。どちらの検査を行ったのか混乱しないよう注意が必要です。

### 現在、心臓病で治療を受けている方へ

BNP値はそれぞれの患者さんごとに最適の値があります。多くの場合は低いほうが良いのですが、必ずしもそうではありません。治療中のBNP値に関しては主治医の先生とよくご相談ください。

最後にこのBNPというホルモンは松尾壽之（まつおひさゆき）博士、寒川賢治（かんがわけんじ）博士によって1988年に発見されました。我が国の誇る大発見です。

現在、BNP検査は心不全の程度を示す唯一の血液検査として世界中で用いられています。



和泉市では、令和6年5月より、市内実施医療機関で特定健診と市追加検査を受けるときに、医師が必要と判断した50～74歳の人を対象に「心不全検査」（BNP検査）を実施しています。  
(自己負担金500円、差額は和泉市が負担します)

コダイくん



和泉市 健康づくり推進室 健康増進担当

ロマンちゃん